

我南小発 第8号

令和5年6月30日

我孫子市教育委員会 へ

我孫子市立布佐南小学校学校運営協議会  
会 長 志垣 健二郎

令和5年度 第2回学校運営協議会 会議報告書 このことについて、我孫子市学校運営協議会規則第12条の規定により、次のとおり報告します。

出席委員名 佐々木祐子, 山田恭生, 志垣健二郎, 駒場アサ子, 川村 武, 吉岡朋久,  
新堀 都  
記録者 氏名 山田 恭生

(令和5年 6月28日実施)

主な議事	発言者	協議・発言等の概要
※授業参観後、協議会		
1. 会長あいさつ	会長	○子どもたちが元気であった。我々もやる気がでる。
2. 校長あいさつ	校長	○日頃よりの協力に感謝したい。コロナが5類になったことにより、今年度はCS実現の年である。これまでの南小の積み重ねあつての今。そのことに感謝したい。早速除草作業、七夕集会、将棋の先生等、協力をいただきながら進めている。
3. 教育課程の説明	教頭	○1学期の学校行事についてスライドを用いて説明 ○2学期の学校行事予定についてスライドを用いて説明
4. 協議等		
①授業の感想	委員	○廊下に掲示してある絵がとても印象に残った。昔と今で、児童の色彩感覚が違う。子どもたちの感性が絵を見るとわかる。また、運動会や林間等、今年度は学校行事ができています。そのため、子どもたちの生き生きした様子が伝わってくる。
	委員	○学年ごとのよいカラーが出ていた。教室に入ると、子どもらしい子どもたちの反応があつてうれしかった。

②今後の地域学校協働活動について	委員	先生の指示のもとよく学習に取り組んでいた。クラス経営がしっかりできていると感じた。 ○6年生の姿勢がよかった。5年生になると、すごくしっかりとしていた。2年生がタブレットを上手に使っていて驚いた。2年生でもできるのか!と素晴らしく感じた。かがやき学級でざりがにの観察は、意欲的に取り組んでいた。
	委員	○校長、教頭が子どもたちを温かく見守る姿勢がよい。そして、各先生たちが、それぞれ工夫している。6年生は自分で考えさせる授業でとてもよかった。5年生はノートの字がとても上手だった。4年生は、板書の字が大きく丁寧で見やすかった。3年生は他機関との連携ができていてよかった。2年生は、1人1台タブレットの効果的活用が素晴らしかった。1年生は、英語をたくさん話しているのがよい。かわいらしい子どもたちだった。かがやき学級は、個への配慮が丁寧だった。
	会長	○先生たちががんばっている。自分の考えをしっかりと伝える子どもたちを育ててほしい。 ○子どもたちが皆元気であり、反応がよかった。そして、先生たちが熱心である。是非、授業の中で、子どもたちに考えさせる時間を確保し、「間」を大切にしていってほしい。
	校長	○「笑顔と活気」「やってみよう」を合言葉にして、そこに向けて子どもたちがチャレンジできるように、各職員の意識を方向付けていきたい。
	教頭	○小中一貫、コミュニティ・スクールについて、資料をもとに説明。目的は、「南っ子の笑顔と活気」。そのために、小中を一貫させる。そのために、地域と協力する。そこをぶれずに貫きたい。「小中一貫・CS」言葉は難しいが、やることはシンプルである、南小の教育課程を着実に実行することが一番大切である。

会長	○昔は、村全体で子どもを育てる雰囲気だった。今の南小は、そのような雰囲気でやっていけそう。地域には、スキルを持った人材がいる。そのような人たちを、糸でつないでいきたい。糸が太いパイプになるには時間がかかるが、ゆっくりじっくりやりたい。
委員	○今年、コミュニティ・スクールが進んでいる。保護者の立場で考えると、繋がりが安心感を生む。悩みも相談できる。保護者の元気が大事。地域と保護者と学校が結びつくとよい。
委員	○学校の各学年の年間指導計画を見ながら説明を聞いて、とてもよいイメージがもてた。目的、方向性がとても大切である。
委員	○説明を聞いて、南小の目指していることや小中一貫、コミュニティ・スクールのことがよくわかった。このような説明を保護者にしてほしい。そうすれば、もっと理解が深まると思う。
委員	○説明が分かりやすかった。地域ボランティアは、様々なところで協力したい。幅広いアイデアが出し合えるとよい。
会長	○地域との結びつきを深めるために、学校から玉を投げてくれると助かる。そうすると動きやすくなる。
教頭	○地域にメール登録をよびかけ、様々な依頼をメールを使って配信できるように準備を進めている。
委員	○地域にメール登録を依頼し、配信を用いて様々な依頼をすることは、よい案だと思うが、細心の注意が必要である。配慮願いたい。
会長	○地域と言っても、自治会やグループ等、根回しをしながらつなげていくことが大切である。誰でもいいから来てくださいというところまでは、少し時間をかける必要がある。

③児童会からの提案  
(動画視聴)

校長

○安全面には十分に配慮する。  
(後ほど、校長と教頭で再検討したところ、メール配信の件は、要検討で保留とすることを決定)

<南小のよいところ>

- ① 1～6年生まで皆仲よし
- ② 進んで挨拶ができる
- ③ 給食がおいしい
- ④ 授業を頑張っている
- ⑤ 学校行事がたくさんある
- ⑥ 「笑顔と活気でやってみよう」の合言葉があり、「けっきー」がいる。

<地域の方をお願いしたいこと>

- ① 掃除の手伝いをお願いしたい。
- ② 学習(技能教科)のサポートをお願いしたい。

委員

○美化活動は、仕事をしている保護者にとって参加が難しい。少しでも参加者を増やすには、授業参観と抱き合わせて実施を呼びかけてはどうか。また、児童会役員からのお願いということを伝えれば、保護者も協力したくなる。

会長

○学校を綺麗に保ちたい。花を整備している人等もいる。夏休みの水やりボランティア等もできそう。でも、まだ学校は敷居が高いのが現状。もっとつなぎたい。

委員

○学連協ともタイアップしてみてもどうか。

委員

○よびかけが大切である。1日だけではなく、期間で呼びかけてはどうか。いつでも来ていただけるように、気軽に来られるようにできるとよい。来てよかったな、と思えるような活動だとよい。七夕集会は、皆感動していた。

校長

会長

○子どもたちに、あいさつをされただけでも、我々は嬉

5. 諸連絡・閉会	校長	<p>しい。</p> <p>今年は、「やってみよう」の年である。</p>
6 会食 (給食を会食)	教頭  委員 委員  校長  教頭  会長  教頭  校長	<p>○おいしい。</p> <p>○子どもはいつも「南小の給食はおいしい」と言うが、学校によって味は違うのか。</p> <p>○確かに南小の給食はとてもおいしい。そして、我孫子市は、どの学校の給食もおいしい。</p> <p>○南小では栄養教諭が、おいしい給食を「更に美味しい」と思ってもらえるような工夫や取り組みを日常の食育の中でしているからである。</p> <p>○スマホの扱い方等、情報モラル出前授業をしてみてもどうか。</p> <p>○茶道をしてみてもどうか。</p> <p>○地域給食試食会をしてみてもどうか。</p> <p>○できることを実現したい。</p> <p>○スマホの使い方は情報モラル教育として、茶道は家庭科の学習として、教育課程に位置付けることが可能か。</p> <p>○とにかく「やってみる」1年としたい。</p> <p>○参加に感謝したい。</p>
7 解散	校長	